

交通安全教室のおしらせ

10月21日 (水)
午後3時30分～午後4時

歩行者 明るい色の服装と、反射材用品・LEDの活用を。

クルマ 早めのライト点灯、こまめなライトの切り替えを。



会場：ヴィスポことひら1階サフアリーナ
講師：琴平警察署交通課のおまわりさん
対象：ヴィスポことひら会員のみなさま
申込み：不要 参加費：無料

これからの季節は日の入りが早まり、いわゆる薄暮時間帯と帰宅ラッシュが重なります。そのような時期に車を運転する場合、また歩行者として道路を歩く場合、どのようなことに気をつければよいのでしょうか？
反射材の効果を確認する実験を通して、正しい交通ルールを学びましょう。

こまめなライトの切替え

ポイント ●夜間は上向きライトが基本です！
対向車が接近したり、ほかの車両に追従したりする場合などには、「下向き状態」にするなど、ほかの車両等の交通を妨げないようにしましょう。

ヘッドライトの照射距離は、ライトの上向きが約100m、約40m
ライトの下向きが約40mとなっています。

ヘッドライト下向き

夜間、ドライバーから歩行者が見える距離

- 黒っぽい服装 約26m
- 明るい服装 約38m
- 反射材着用 約57m以上

急ブレーキで車が止まるまでの距離

- 時速50km 32m
- 時速60km 44m

反射材を付けているのと、付けていない場合では差は明らかです。反射材を付けましょう！